

サイアムセメント(SCCn)

温暖化ガス排出量ゼロを目指し、廃棄物の固形燃料化やHDPE樹脂ボトルのリサイクルなど資源循環を強化中
タイ | セメント・骨材 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG SCC:TB | REUTERS SCC.BK

- 2021/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比39.1%増、純利益が同82.6%増。前四半期比でも売上高が9.4%増、純利益が14.9%増。
- 主要3事業の全部が増収増益。化学品事業は、売上高が前年同期比74.8%増、営業EBITDAが同81.4%増と、最も伸びが大きかった。
- 2050年までの温暖化ガス排出量ゼロを目指し、廃棄物の固形燃料化や同社開発のHDPE樹脂ボトルのリサイクルなど資源循環を強化中。

What is the news?

7/29発表の2021/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比39.1%増の1,335.55億THB、関係会社からの配当を除く営業EBITDAが同39.7%増の264.18億THB、純利益が同82.6%増の171.36億THB。セメント建設資材事業、化学品事業、パッケージング事業の全事業の堅調な伸びが業績拡大を後押ししたほか、関係会社からの配当も農業ビジネスの伸びにより同34.9%増と伸びた。前四半期比では、売上高が9.4%増、営業EBITDAが12.6%増、純利益が14.9%増と業績回復の継続を示した。

2Qの主な事業セグメント別の概況は以下の通り。①セメント建設資材事業は、売上高が前年同期比9.2%増の464.16億THB、営業EBITDAが同9.0%増の65.48億THB。タイ国内での販売、その他のアセアンへの輸出ともに堅調に伸びた。②化学品事業は、売上高が同74.8%増の607.40億THB、営業EBITDAが同81.4%増の124.18億THB。製品価格の上昇が増収に寄与したほか、製品価格間スプレッドの拡大によるマージンの上昇が利益面で貢献した。③パッケージング事業は、売上高が同38.2%増の298.95億THB、営業EBITDAが同36.9%増の55.79億THB。コロナ禍において「ウイズ・コロナ」生活の定着に伴うパッケージ需要と受注の伸びのほか、欧米の経済成長加速による輸出の伸びが業績に貢献した。

How do we view this?

同社は2050年までの温暖化ガス排出量ゼロを目指して資源循環分野の強化などESG経営に注力。セメント建設資材事業ではドローンや3Dプリンティングの活用、太陽光の自家発電、農業廃棄物およびセメント製造工程から出される産業廃棄物の固形燃料化を推進している。

また、化学品事業では、「SCGグリーンポリマー」の自社ブランドの下で高品質の高密度ポリエチレン(HDPE)樹脂を開発し、消費財世界大手のユニリーバ社と提携して同HDPEを使ったパッケージボトルのリサイクルに乗り出した。その他にも、ベトナムのグループ会社であるロンソン石油化学(LSP)の石油化学コンビナートのプロジェクトにおいて、炭化水素燃料から自家発電を行う施設を建設中である。

その他、企業グループ内部で独自に炭素排出量に価格を付ける「インターナル・カーボン・プライシング(ICP)」プログラムを構築した。

業績推移

※参考レート 1THB=3.27円

事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12F	2022/12F
売上高(百万THB)	478,437	437,979	399,939	471,774	491,353
当期利益(百万THB)	44,748	32,014	34,143	45,177	45,556
EPS(THB)	37.29	26.68	28.45	38.96	37.97
PER(倍)	10.89	15.22	14.27	10.42	10.69
BPS(THB)	230.91	233.51	267.48	290.27	310.71
PBR(倍)	1.76	1.74	1.52	1.40	1.31
配当(THB)	19.00	14.00	14.00	17.64	17.53
配当利回り(%)	4.68	3.45	3.45	4.34	4.32

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB)	17.64	(予想はBloomberg)
終値(THB)	406.00	2021/8/16

会社概要

1913年にタイのインフラ投資プロジェクトに不可欠な材料であるセメントを生産することを目的に、ラーマ6世が設立。東南アジアを代表するコングロマリットで、現在はセメント建設資材事業、化学品事業、パッケージング事業の3つを中核事業とする。

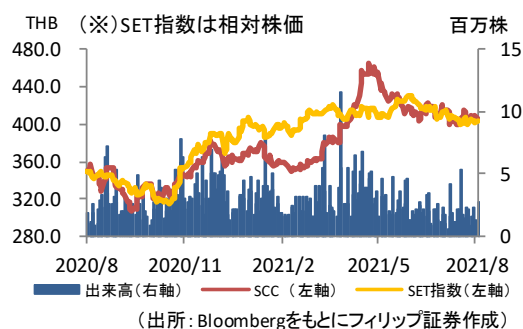
①セメント建設資材事業は、セメントおよびその他建築資材の製造・流通、およびホームセンター(Home Boonthavorn)に係る流通および小売リビジネスを運営している。

②化学品事業は、モノマーなど上流部門から、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリ塩化ビニール、ポリスチレンおよびMMAなど下流部門に至るまでの幅広い石油化学製品を製造する。

③上場子会社のサイアム・セメント・グループ・パッケージングが展開するパッケージング事業は、紙、板紙、パッケージング・バルブの製造・販売を行っている。タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピン4カ国の段ボール市場では約3割のシェアを誇る。

企業データ(2021/8/17)

ベータ値	0.79
時価総額(百万THB)	487,200
企業価値=EV(百万THB)	751,931
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	947.1



主要株主(2021/8)

1. King Maha Vajiralongkorn B	33.64
2. STOCK EXCHANGE OF THAILAND	11.70
3. SOCIAL SECURITY OFFICE	4.96

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
+81 3 3666 6980
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。